

ハイビスカス

学名	Hibiscus rosa-sinensis
科名	アオイ
別名	ブツソウゲ
区分	まちかど しょうぶつ 街角の植物
分布	ちゅうごくなんぶげんさん 中国南部原産



説 明

おきなわ だいひょう はな いっぱん
 沖縄を代表する花のひとつで、一般にはハイビスカ
 す、沖縄ではアカバナの名で親しまれています。高
 が 3m くらいになる じょうりよく ちゅうぼく せいちょう はや こう
 常緑の中木で、成長が早く公
 えん いけがき おお りよう はな ねんじゅうとお
 園や生垣などに多く利用されています。花は年中通し
 かいか おお えんげいひんしゅ
 て開花し、多くの園芸品種があります。

は か た ち こうらんけい
葉の形 広卵形

は ふ ち きよし
葉の縁 鋸歯

は さ き えいけい
葉の先 鋭形

は しゅるい たんよう
葉の種類 単葉

は つきかた ごせい
葉の付方 互生

は き ぶ がた
葉の基部 ハート形

み しゅるい とうか
実の種類 豆果

はな がくいろ あかいろとう
花・萼色 赤色等